



2024年4月9日

各 位

会 社 名 株式会社放電精密加工研究所
代 表 者 名 代表取締役社長 村田 力
(コード番号 6469)
問合せ先責任者
役職・氏名 取締役
財務・情報開示・海外子会社担当
大村 亮
電 話 045-277-0330

「中期経営計画 2027」の策定に関するお知らせ

当社は、2024年2月期を最終年度とする『中期経営計画 2024』を見直し、2027年2月期までの『中期経営計画 2027』を策定いたしましたので、その概要を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画 2027 策定の背景および方針

中期経営計画 2024 は、コロナ禍やウクライナ危機などによってもたらされた国際情勢の不安定さ、資源費・エネルギー費の高騰といった事業環境の大きな変化の中で展開されました。『次世代に向けた再構築』をスローガンとして掲げ、収益改善に向けた努力と共に、中期経営計画に沿った各種改革を推進し、本部制移行などの内部体制の整備を進めてまいりました。これらの取り組みにより一定の進展を遂げることはできましたが、収益面での成果は十分ではなく、さらなる改善が求められています。このような背景を踏まえ、中期経営計画 2027 を策定いたしました。

中期経営計画 2027 では、新たな経営体制の下、残された課題解決に取り組むとともに、顧客からの増産要請に応えるための内部体制を更に強化し、人的資本への投資を推進してまいります。これによって収益性と成長性を重視した経営を実践し、持続的な成長を目指すための経営基盤の構築を目指します。

また、2024年2月28日に三菱重工業株式会社と資本業務提携に基づく第三者割当増資を実施し、今後、2026年2月期より段階的に増産が見込まれるガスタービン部品、航空機エンジン部品、防衛装備品への設備増強と安定供給が行える体制の整備を行って参ります。

2. 計画期間

2025年2月期～2027年2月期（3年間）

3. 長期ビジョン

サステナブル社会に必要なものづくり技術を提供し続けて 100 年企業となるための基盤を構築する

4. 中期経営計画 2027 の重点方針

(1) 改革の推進

- ・成長への組織改革と人的資本投資の推進および体制の整備

(2) 収益基盤の強化

- ・事業ポートフォリオの再設定
- ・標準化と自動化による業務改革の推進

(3) 成長基盤の強化

- ・長期ビジョンを背景とした技術開発への取り組み
- ・海外展開を拡大し、成長事業の国際競争力強化

(4) 経営基盤の強化

- ・ESG 経営の体制構築
- ・ステークホルダーから安心・信頼される会社

5. 中期経営計画 2027 の経営数値目標（連結）

（単位：百万円）

	2024 年 2 月期 実績	2025 年 2 月期 1 年目予想	2027 年 2 月期 3 年目計画（目標）
売上高	12,160	13,566	14,728
営業利益	230	368	899
営業利益率	1.9%	2.7%	6.1%

なお、この「中期経営計画 2027」は、本資料策定時点において入手可能な情報に基づき、3年固定方式として策定しております。実際の業績などは今後さまざまな要因によって記載内容と異なる可能性があり、急激なビジネス環境の変化、予測シナリオの見直しの必要性が認識される場合には、期中においてもローリングの実施を検討することといたします。

6. 株主還元

当社は、株主様への利益還元を、経営上の最重要課題のひとつと考えております。

将来のための設備投資や、財務体質の強化のための内部留保と業績の状況を総合的に勘案し、株主の皆様に対しては安定的、かつ継続的な利益還元を行ってまいります。

以 上